

県立特別支援学校における デジタル機器の活用に係る取組



令和4年3月
広島県教育委員会

101 広島県立広島中央特別支援学校



導入端末	iPad, Windows, ブレイルメモ
使用機器	iPad, iPad Pencil
使用したソフトや機能	教科書・教材閲覧アプリ

○ 対象

高等部普通科, 高等部保健医療科

○ 活用の実際

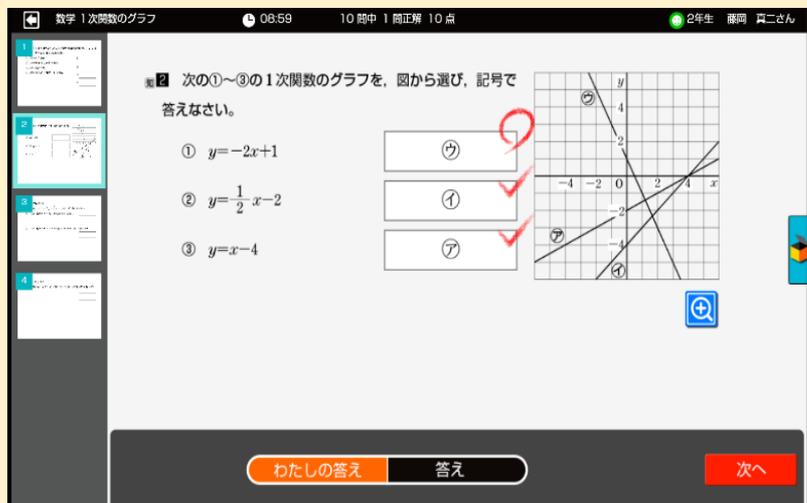
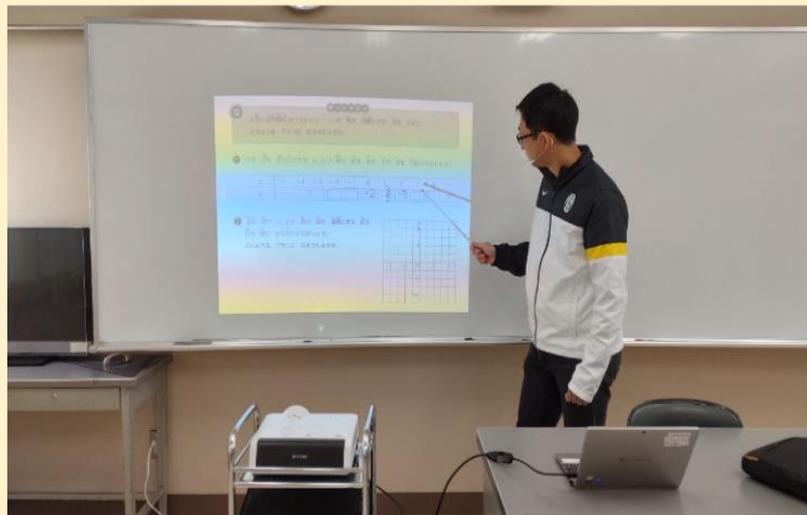
- ・ 慶應義塾大学が提供する「PDF版拡大図書」(デジタルの教科書)を使用して学習している。
- ・ 紙の拡大教科書に代わるものとして、文字を拡大して見たり、メモを書き込んだり、教科書を検索することができる。リフローモードでは、文字の大きさ・フォント・色、背景色などを変更することができる。

○ 成果

教科書をデジタルにすることにより、授業で教科書を読んだり、調べたりすることが簡単にできるようになり学習意欲が向上している。

<関連情報等>

- ・ 視覚障害者とICT活用 http://www.hiroshima-sb.hiroshima-c.ed.jp/gakkou_annai/sikaku_ict.html
- ・ ミニ先生 大集合! http://www.hiroshima-sb.hiroshima-c.ed.jp/kenkyu_kensyu/mini_teathre_daishugo.html



導入端末	iPad, Windowsノートパソコン
使用機器	ノートパソコン, プロジェクター
使用したソフトや機能	パソコンソフト (問題データベース)

○ 対象

中学部第2学年 数学科「1次関数」

○ 活用の実際

- 教科書の内容をもとにワークシートを作成し、プロジェクターで提示しながら授業を進めた。
- パソコンソフトの問題データベースを利用し、小テストや復習に利用した。

○ 成果

- 教師の板書や生徒がノートを写す時間が短縮でき、思考や発表する時間、演習の時間を多く確保することができた。
- アプリを利用することで、学習意欲を向上させることができた。



導入端末	iPad
使用機器	iPad, プロジェクター, ディスプレイ
使用したソフトや機能	Web会議システム

○ 対象

知的障害部門中学部
日常生活の指導「朝の集会に参加しよう」

○ 活用の実際

- ・ 週1回行っている学部朝会の密を防ぐようリモートで行った。
- ・ しまなみ分校中学部との交流を行った。

○ 成果

- ・ リモートでの学部朝会を通して、密を防ぎながら他学級と交流をすることができた。
- ・ リモートによるオンライン学習の環境に触れることができた。
- ・ しまなみの様子を見たり、交流をしたりすることができた。
- ・ 各会場のセッティングを生徒が自ら行う場面を設定することで、デジタル機器を取り扱う機会を確保することができた。
- ・ 各会場の様子を見ることができ、各会場と双方向のやり取りができた。



導入端末	iPad
使用機器	iPad
使用したソフトや機能	Web会議システム, 表計算ソフト, メモ機能, 計算機, ウェブマッピング

○ 対象

小学部第5学年
特別活動「学校生活を楽しむ」

○ 活用の実際

- Web会議システムで県内外2校の児童とつながり、メモ機能を用いて文章を読むなど、司会進行の役割を果たすための活動を行った。
- ボウリングのピンの数を記録する、折れ線グラフから優勝チームの判断など、表計算ソフトを用いた活動を行った。

○ 成果

- これまで身に付けた力を発揮する機会となり、「文章やグラフの読み取りができた」「友達が楽しめるように声の大きさや抑揚に留意した」という自信等につながった。
- リモート授業後、つながった学校の位置をウェブマッピングで知り、遠くにいる人と話したり遊んだりできる利便性を知ることができた。

<関連情報等> Web会議システムを活用した協働学習

<http://www.onomichishimanami-sh.hiroshima-c.ed.jp/topics/marinbaiooshogakubu.pdf>



導入端末	iPad
使用機器	iPad
使用したソフトや機能	Web会議システム、プレゼンテーションソフト

○ 対象

中学部第1・2学年
日常生活の指導

○ 活用の実際

Web会議システムを使用して、尾道特別支援学校本校中学部の学部朝会にオンラインで参加した。

○ 成果

- ・ 秋に実施した分校祭では、生活単元学習で学んだり調べたりした内容をプレゼンテーションソフトにまとめ、保護者の前で発表した。その発表内容を本校中学部の生徒たちに見てもらい、取組を知ってもらうことができ、自信につながった。
- ・ 自己紹介や学校紹介、分校祭の劇の内容の紹介をして、同世代の中学部の生徒とやりとりをし、関わりをもつことができた。



導入端末	iPad
使用機器	iPad, テレビ
使用したソフトや機能	メモ機能, Web会議システム

○ 対象

知的障害部門 高等部第1・2学年
総合的な探究の時間「ぼくたち、私たちの因島」

○ 活用の実際

分校でできるSDGsについて考えるために、既にSDGsに取り組んでいる企業とリモート授業を行い、話を聞いたり質問をしたりした。

○ 成果

漠然としていたSDGsが、具体的な取組を知ることで、「因島」や「学校」でできることに焦点を当てて考えたり、自分たちに実現可能な取組の案を考えたりすることができた。

<関連情報等> Web会議システムを活用した企業・施設の参観日

<http://www.onomichishimanami-sh.hiroshima-c.ed.jp/進路トピックス⑧.pdf>



導入端末	iPad, surface Go, HP Pro Book
使用機器	iPad
使用したソフトや機能	Web会議システム

○ 対象

S部門小学部第3学年 訪問学級

○ 活用の実際

訪問授業やスクリーニングを行うことが難しい時期に、iPadを活用してオンライン授業を行ったり、リモートで朝の会や授業に参加したりした。

○ 成果

- ・ オンラインで友だちの様子を映し出すことにより、関心をもって追視したり、発声したりする姿が見られた。
- ・ 事前に教材を見童宅に届けたり、活動内容を精選したりすることにより、覚醒高く活動する姿が見られた。
- ・ オンラインでの活動を通して、児童と保護者の触れ合いの時間がもてた。



導入端末	iPad, surfaceGo, HP Pro Book
使用機器	iPad
使用したソフトや機能	プレゼンテーションソフト, データ共有システム

○ 対象

S部門小学部第6学年 表現活動「おはなし」

○ 活用の実際

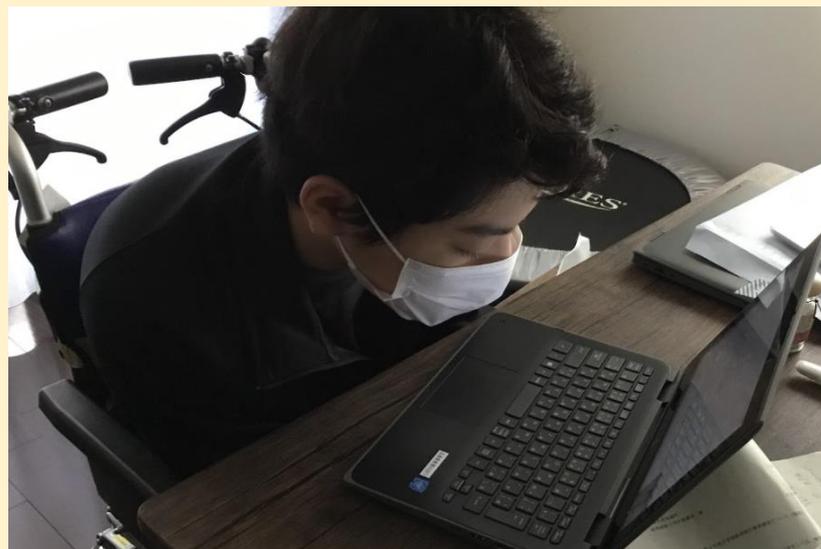
次の二点の目標を達成するために、タブレット型端末を活用してスライドを見童の目の前に提示して読み聞かせを行った。

【目標】

- ① 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。
- ② 因果関係に気付き、対象に注目したり目的に手を使ったりすることができる。

○ 成果

- ・ 提示したスライドに登場するキャラクターに気付いて注視することができた。
- ・ アニメーションで動く様子をわずかに追視することができた。
- ・ 繰り返し提示する中で、触るとスライドが動くことに気付き、自ら手を伸ばして画面を触れる様子が見られた。



導入端末	iPad, surface Go, HP Pro Book
使用機器	iPad, ノートパソコン
使用したソフトや機能	Web会議システム

○ 対象

S部門高等部第1学年
生活単元学習「自分と身近にある自然や文化との関わりを知ろう」

○ 活用の実際

家庭と学校をWeb会議システムでつなぎ、楽器の演奏や通学生のダンスを視聴した。

○ 成果

教員と生徒が一对一の活動になりやすい訪問教育だが、Web会議システムを使うことで学校の生徒に発表する場ができ、意欲につながった。



導入端末	iPad, Surface, ノートパソコン (WindowsOS)
使用機器	ノートパソコン, 視線検出式入力装置, モニター32型, iPad, スイッチ (ジョグルスイッチL)
使用したソフトや機能	視線入力補助ソフト, プレゼンテーションソフト, スイッチコントロール

○ 対象

小学部第6学年 算数科「ものであそぼう」

○ 活用の実際

- ・ 視覚を活用することをねらい, 視線検出式入力装置を使用し, 画面前の提示物を追視する, 視線で絵を描く等の活動を行った。
- ・ 因果関係の理解をねらい, 好きな映像と音楽を流すためにスイッチを押す活動を行った。

○ 成果

- ・ 視線検出式入力装置を活用することで, 視線で描く絵の変化が明確であるため, 児童の見る行為を引き出すことができただけでなく, 評価のしやすさにつながった。
- ・ 児童が操作しやすいスイッチを使用することで, 操作する負担を軽減し, 活動に集中できる環境を整えることができた。

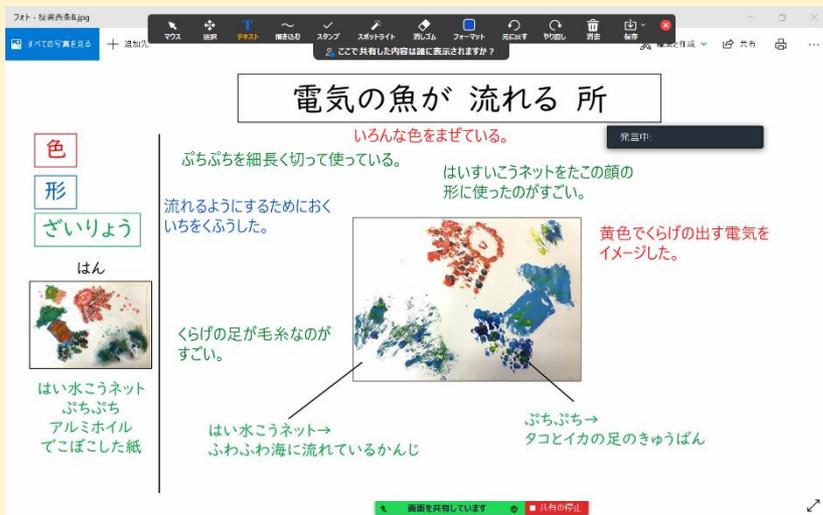
<関連情報等>

・ 令和元年度広島県肢体不自由特別支援学校 自立活動実践事例集 (p.38)

[jiritu_jirei7.pdf \(hiroshima-c.ed.jp\)](#)

・ 令和3年度第9回広島県肢体不自由特別支援学校自立活動研究会報告集 (P.11)

[R3jiritu_houkokusyu.pdf \(hiroshima-c.ed.jp\)](#)



導入端末	iPad, Surface
使用機器	iPad, Surface, タブレットアーム, テレビ
使用したソフトや機能	Web会議システム, プレゼンテーションソフト

○ 対象

小学部第3学年

図画工作科「いろいろうつつて～はんも生かして～」

○ 活用の実際

- Web会議システムを使った遠隔合同授業で、他県の児童と作品交流を行った。
- 児童から出された作品に対する意見を教師が電子板書し、作品鑑賞とともに意見の交流をしやすいとした。

○ 成果

- 他県の友だちと共に学ぶことにより、相手の意見を参考にして思考を広げ、より良い作品を作ることができた。
- 電子板書し、記録をデジタル化して残すことにより、学びを定着しやすくし、次の作品作りに生かすことができた。
- 他県にも同じように頑張っている友だちがいることを知り、学習への意欲が増した。

<関連情報等> SaitokuTube ～学校紹介及び児童生徒の学習の様子～

- <http://www.saijyo-sh.hiroshima-c.ed.jp/custom5.html>
- <http://www.saijyo-sh.hiroshima-c.ed.jp/blog.html>



導入端末	iPad
使用機器	iPad, ユニバーサルアーム
使用したソフトや機能	Web会議システム, 学習支援ソフト, プレゼンテーションソフト

○ 対象

小学部第2学年 特別活動「本校の友だちと交流しよう」

○ 活用の実際

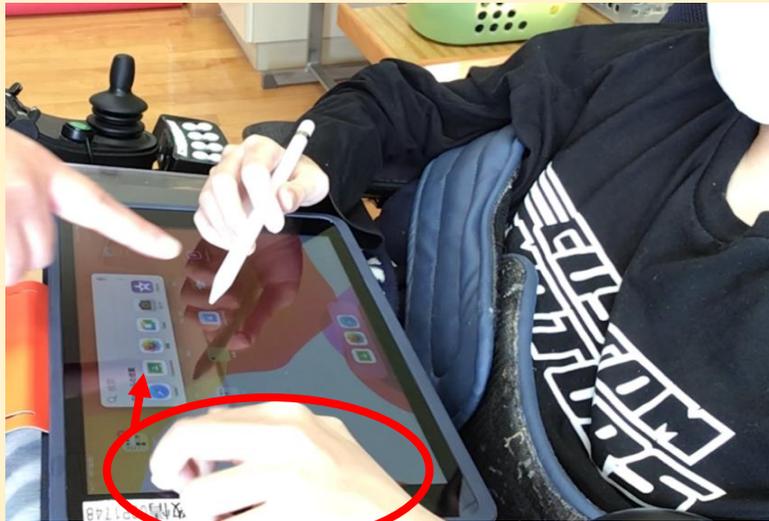
- ・ 同学年児童のクラスとWeb会議システムを使用してオンライン交流を行った。
- ・ 分級から動画と手紙を送り、本校からは手紙や手作りプレゼントをもらったり、学習支援ソフトを活用して動画やプレゼンテーションソフトでメッセージを伝えてもらったりした。

○ 成果

- ・ オンライン交流では、お互いの様子を見たり、声を聞いたりしながら紹介し合うことで、つながりを深めることができた。
- ・ 手紙やプレゼントに加え、動画やプレゼンテーションソフトの活用により、児童の声が聞こえたり、好きな曲が流れたりしたので、児童の興味・関心が深まった。
- ・ ユニバーサルアームの使用により児童の姿勢に合わせて安全にiPadを提示することができた。

<関連情報等> 学校ホームページ「学校の様子」

<https://www.saiyohachihon-sh.hiroshima-c.ed.jp/yousu/yousu.html>



導入端末	iPad
使用機器	iPad, iPad Pencil
使用したソフトや機能	ブラウザ, 文書作成ソフト, PDF

○ 対象

中学部第3学年 国語科 「書初めをしよう」

○ 活用の実際

- ・ 可動域の制限により、他部位をタップし、目的の動作に時間がかかるため、iPad Pencilを活用した。
- ・ 文字をPDFに直接記入することにより、ノート代わりとして使用した。
- ・ 誤作動を防ぐため、手袋を着用した。

○ 成果

- ・ 本生徒はデジタル機器に興味・関心があり、通常のプリントや教科書を用いた学習よりも主体的に授業に参加した。
- ・ iPad Pencilを使うことで、画面の中央など、微妙な位置へのタップが簡単にできるようになった。
- ・ 手袋の使用により、必要のない部位へのタップを減らすことができた。今後は手袋に改良を加え、小指側を覆ったものを作成していく。



<関連情報等> デジタル機器の活用に係るミニ研修

・ <http://www.nishitokushien.hiroshima-c.ed.jp/img/file108.pdf>

・ <http://www.nishitokushien.hiroshima-c.ed.jp/img/file118.pdf>



導入端末	iPad, ノートパソコン
使用機器	iPad, HDMIケーブル, ライトニングケーブル, プロジェクター
使用したソフトや機能	カメラ機能, 画像編集アプリ

○ 対象

小学部第5学年

生活単元学習「野菜や花を育てよう」

○ 活用の実際

- ・ iPadで自分が育てている野菜の写真を撮影した。
- ・ アプリを活用し、前時と本時に撮影した野菜の比較画像を作成して白板に投影し、成長したと思う点を学級で共有した。
- ・ 比較画像は、印刷し、翌日の授業で児童が観察シートに貼り付けた。

○ 成果

- ・ 同じ画面で成長を比較できるため、前時との違いに気付きやすい。
- ・ 炎天下での観察が短時間となり、児童が教室で落ち着いて前時との違いに気付き、気付いたことを発表することができた。
- ・ 必要に応じて各々の写真を拡大でき、児童が成長のポイントに注目しやすい。

導入端末	iPad, surface, アンドロイド端末, PC
使用機器	iPad
使用したソフトや機能	学習支援ソフト, 表計算ソフト, デジタルホワイトボードソフト, 文書作成ソフト, Web会議システム

事前学習の様子



インタビューの様子

○ 対象

高等部普通科職業コース第1学年「職業」

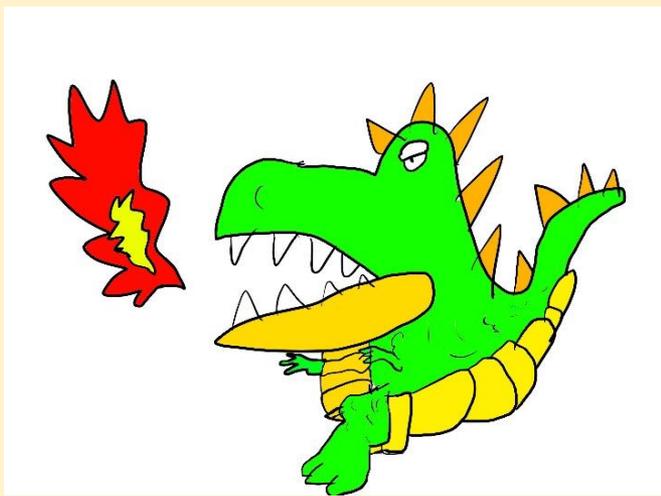
○ 活用の実際

- ・ 身近な仕事について考える学習において、学校で働く校長先生や栄養士、学校事務アシスタントにWeb会議システムを使用してインタビューを行った。
- ・ インタビューの内容をiPadの学習支援ソフト(デジタルホワイトボードソフト)を利用して整理し、学級の仲間と振り返りを行った。

○ 成果

- ・ 生徒は、実際の仕事内容を直接聞くことができ、同じ職場であっても、職種によって働き方が違うことに気付き、理解を深めることができた。
- ・ リモートでインタビューを行うことで、初めて話す相手とコミュニケーションを取ることが難しい生徒も、参加することができた。
- ・ 今後、リモートインタビューを、他の学校や企業等関係機関へ広げ、学習の発信の場や実際に働く卒業生へインタビューを行うなど、発展させていきたい。

111 広島県立三原特別支援学校



導入端末	iPad, Surface
使用機器	iPad, iPad Pencil
使用したソフトや機能	Paintツール

○ 対象

小学部 第6学年

生活単元学習「おみせやさんをしよう」

○ 活用の実際

- ・ おもちゃ屋さんの商品として、iPadでイラストを描いた物をプラバンに印刷し、キーホルダーを作った。
- ・ iPadを2台使用した。1台は見本を提示し、もう1台はiPad Pencilを用いてPaintツールのアプリでイラストを描いた。

○ 成果

アプリを用いることで、作業に時間を要する児童が色塗りや間違いの修正を簡単に行うことができ、1時間の授業の間に何枚も描き上げることができた。

<関連情報等> ICT活用実践事例一覧

http://www.mihara-sh.hiroshima-c.ed.jp/M-4/m4_8.html

III 広島県立三原特別支援学校

このなかから アルファベットをみつけてみよう



導入端末	iPad, Surface
使用機器	iPad, プロジェクター
使用したソフトや機能	写真撮影機能, マークアップ

○ 対象

中学部第3学年

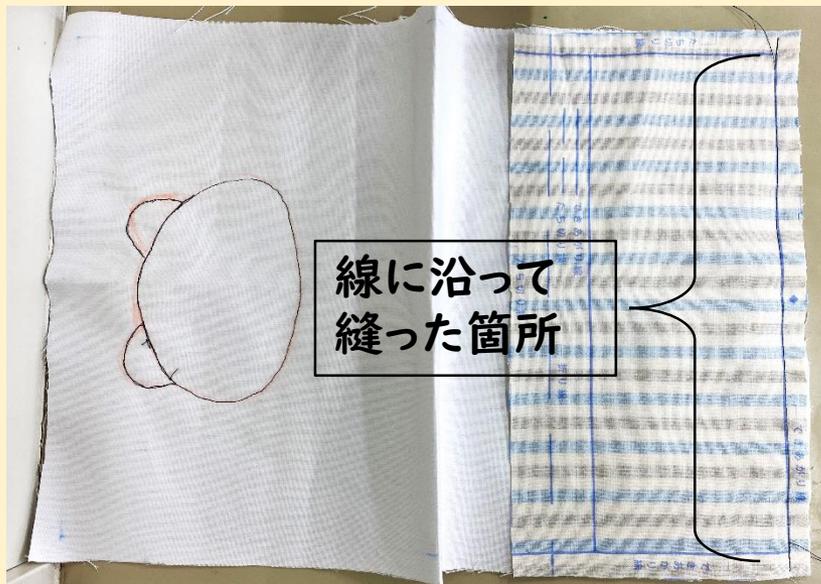
総合的な学習の時間「世界の国々について知ろう」

○ 活用の実際

- ・ 身の回りのなじみのある場所をiPadで撮影し、写真の中からアルファベットを探した。
- ・ iPadで撮影した写真に、マークアップでアルファベットを書いてヒントにした。

○ 成果

- ・ 写真をよく観察することで、隠れたアルファベットを探し当て、アルファベットの形や読み方を知ることができた。
- ・ マークアップで書かれたもの以外にも、写真に映っている様々な物の形からアルファベットを探すなど、積極的に取り組む様子が見られた。



導入端末	iPad (第9世代)
使用機器	iPad, アームスタンド
使用したソフトや機能	動画再生機能, AFロック機能

○ 対象

高等部第2学年

家庭科「布を用いた製作Ⅰ」

○ 活用の実際

- ・ ミシンの手元が見えないことによる不安な様子があったため、iPad画面上で生徒自身の指を見ながら、教師の見守りの中、何度か繰り返し練習を行った。
- ・ 感覚をつかんだところで、本番のトートバックの布に挑戦した。

○ 成果

- ・ 教師の見守りの中で、生徒一人で線に沿って縫うことができた。
- ・ 縫い終わった後、「おお、(縫った部分を見て)できてる!」と喜び自信を付けた。

112 広島県立呉特別支援学校



導入端末	iPad
使用機器	iPad, ノートパソコン, モニター, ワイヤレススピーカフォン
使用したソフトや機能	ブラウザ, プレゼンテーションソフト, Web会議システム

○ 対象

中学部第2学年 生活単元学習「進路学習」

○ 活用の実際

- ・ ブラウザを用いて各自が担当する事業所について情報を収集した。
- ・ プレゼンテーションソフトを用いて収集した情報をスライドに加工した。
- ・ 出来上がったスライドをもとに、Web会議システムを活用して他クラスと発表し合った。

○ 成果

- ・ キーボードやマウスが十分に使えない生徒でも、iPad画面のタッチ操作だけでスライドが作成できた。そして、デジタル機器活用に係る技術の習熟が見られた。
- ・ Web会議システムによる発表を目的としたことで、生徒の目的意識や意欲が見られた。
- ・ 互いに他クラスの発表を見ることで、地域の進路先に関する理解が深まった。

<関連情報等> Web会議システムを活用した取組～令和3年度海外交流～

http://www.kure-sh.hiroshima-c.ed.jp/22TOP11-21/43_gakkouseikatu/r3/r3%20kaigaikouryu.pdf

112 広島県立呉特別支援学校江能分級



導入端末	iPad, Microsoft surface
使用機器	iPad
使用したソフトや機能	カメラ機能, 動画編集機能

○ 対象

中学部 第1・2学年

作業学習「冬野菜の栽培と収穫」

○ 活用の実際

生徒自ら栽培・収穫した春菊を販売するため、iPadを活用し、手順動画で手順やポイントを確認しながら袋詰めを行った。

○ 成果

- ・ 手順動画を確認することで、前時の内容を想起しやすく、本時のポイントを理解して取り組むことができた。
- ・ iPadを活用することで、葉が痛まないよう袋詰めするためにはどうしたらよいか、生徒自ら考えたり、ポイントを確認したりし、袋詰めを行うことができた。
- ・ 手順動画を確認し、取り組むことで、イメージや見通しをもって取り組むことができた。

<関連情報等> 学校ホームページ「研究推進」

<http://www.kureenou-sh.hiroshima-c.ed.jp/kennyuusuisin.htm>

113 広島県立庄原特別支援学校



導入端末	iPad, Chromebook
使用機器	iPad, テレビ
使用したソフトや機能	Web会議システム

○ 対象

中学部第1学年 生活単元学習「夏の生活」

○ 活用の実際

Web会議システムを活用して、同学年の他クラスとの交流（自己紹介や学習の成果等の発表）を行った。

○ 成果

- ・ デジタル機器を活用することで、自分の教室で活動ができるため、慣れない場所や人前で緊張しやすい生徒も、リラックスした状態で、他者と交流することができた。
- ・ 繰り返しデジタル機器を用いて、他者と交流したことで、生徒はデジタル機器を活用した交流方法を知ることができた。
- ・ デジタル機器を用いることで、生徒の興味・関心や期待感を引き出すことができ、進んで活動する意欲を引き出すことができた。

<関連情報等> 学校ホームページ「研究・指導」

<http://www.shobara-sh.hiroshima-c.ed.jp/shido.html>



導入端末	iPad
使用機器	iPad, テレビ
使用したソフトや機能	カメラ機能, 動画再生機能

○ 対象

小学部第1学年 生活単元学習「広北まつりに向けて」

○ 活用の実際

- ・ 紙粘土で、お弁当の具材（おにぎりやトマト等）の創作活動を行った。その際、事前にiPadで教師の創作動画を撮影し、その見本を見ながら創作活動を行った。
- ・ 振り返りのために授業の様子をiPadで撮影し、その動画を視聴した。

○ 成果

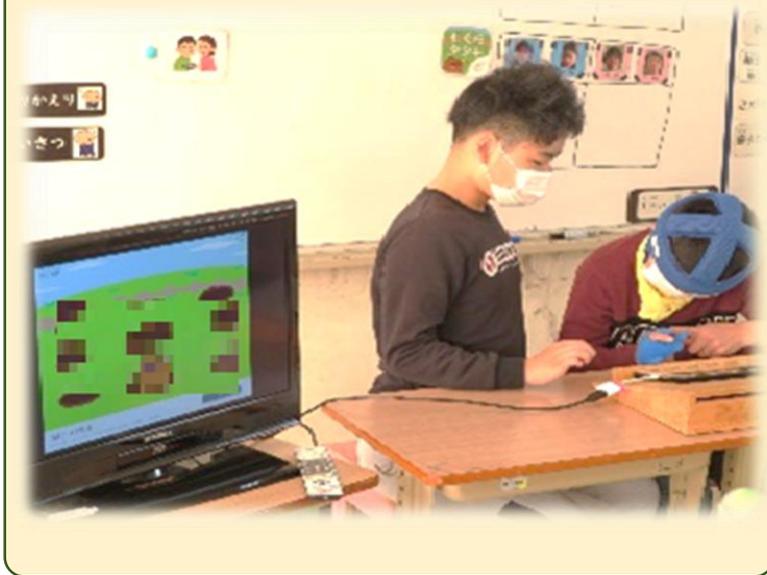
- ・ 教師の指示を受けて活動していた児童が、教師からの言葉掛けが無くても、動画を見ながら、一人で創作活動に取り組むことができた。また、動画の動きに追いつかない時は、「早い。」や「待って。」と動画の再生を止めてほしいことを伝える姿が見られた。
- ・ 振り返り動画では、自分の映像を指さしたり、動画の中の自分と同じ動きをしたりして、振り返る様子が見られた。

<関連情報等> ホームページ「研究・研修—実践報告集」

・<http://www.hiroshimakita-sh.hiroshima-c.ed.jp/index.html#>

・http://www.hiroshimakita-sh.hiroshima-c.ed.jp/kenkyuu/kenkyuu_jiltusenhoukoku.html

114 広島県立広島北特別支援学校



導入端末	iPad
使用機器	iPad, テレビ
使用したソフトや機能	基本操作学習のためのアプリ

○ 対象

中学部第3学年

自立活動「タブレットで生活を広げよう(コミュニケーション)」

○ 活用の実際

コミュニケーション能力の育成を目標にし、タブレット型端末を使ってペアでゲームを行った。はじめに、タブレットを使用する際の約束「大事にすること。終わりの時間を守ること。」を確認した。

○ 成果

- ・ パスワードの入力等で助けが必要な時には、教師に近づいて「お願いします。」と伝えることができた。
- ・ ペアでゲームをする時には、相手を待って端末を共有し、仲間とタップやスクロール操作を協力しながらゲームをすることができた。
- ・ タブレット型端末の基本的な操作や安全な取扱い等、デジタル機器を一人で活用する経験はあるが、端末を他者と共有する経験を積み重ねることで、共同学習(調べ学習や表現活動)の基礎的活用能力の育成を図ることができた。

<関連情報等> ホームページ「通信・たよりー広北だよりー自立活動(中3)」

・<http://www.hiroshimakita-sh.hiroshima-c.ed.jp/index.html#>

・http://www.hiroshimakita-sh.hiroshima-c.ed.jp/hirokitadayori/21.11.16_R3_hirokita_now_ict_jiritu_chuu3.pdf

導入端末	iPad
使用機器	iPad, パソコン, デジタルカメラ, プロジェクター
使用したソフトや機能	カメラ機能, 文書作成ソフト



○ 対象

高等部第1学年

総合的な探究の時間「国際理解について」

○ 活用の実際

- ・ 自分の似顔絵とローマ字の名前をプリントに記入し、プリントをデジタルカメラで撮影後、パソコンにデータ保存した。
- ・ 写真データをトリミングし、文書作成ソフトに貼り付け、正式な自己紹介カードを作成した。
- ・ 姉妹校交流で使用する自己紹介カード作成の為に、プロジェクターで作業手順を全体共有した。そこで、生徒同士で話し合う場面を設定した。

○ 成果

- ・ 最初は、「分からない。」「触ったことない。」「嫌だ。」と不安がある様子が見られたが、デジタル機器を使うことで、「楽しい。」「初めてできた。」と嬉しい感情を表出させる場面が多く見られた。
- ・ プロジェクターを使用し、生徒同士で話し合わせることで、分からない作業を共有し、解決することができた。

<関連情報等> ホームページ「研究・研修—実践報告集」

・<http://www.hiroshimakita-sh.hiroshima-c.ed.jp/index.html#>

・http://www.hiroshimakita-sh.hiroshima-c.ed.jp/kenkyuu/kenkyuu_jiltusenhoukoku.html

115 広島県立沼隈特別支援学校



導入端末	iPad
使用機器	iPad, テレビ
使用したソフトや機能	学習支援ソフト, プレゼンテーションソフト, アンケート作成機能

○ 対象

高等部第3学年

特別活動「姉妹校交流」「夏休みの生活について」

○ 活用の実際

- ・ 学習支援ソフトを活用し、資料や課題を投稿した。
- ・ プレゼンテーションソフトで学習した後に、アンケート機能を活用して作成した簡単な確認テストを行った。

○ 成果

- ・ テレビにも同じスライドを映していたが、手元のiPadで見る方が注意がそれず、集中できる生徒もいた。
- ・ アンケート機能を活用することで、すぐにフィードバックすることができた。フィードバックを受けた生徒は、自らスライドで学習内容を確認することができた。
- ・ 学習内容から派生した疑問について、すぐに検索することができ、学習が深まった。

<関連情報等> 学校ホームページ「ICT活用」

<http://www.numakuma-sh.hiroshima-c.ed.jp/012%20ICTkatuyou.html>

115 広島県立沼隈特別支援学校



導入端末	iPad
使用機器	iPad, プロジェクター
使用したソフトや機能	写真撮影機能, 動画編集ソフト

○ 対象

中学部第1学年

作業学習(清掃基礎) 「教室をきれいにしよう」

○ 活用の実際

- ・ 掃除道具の正しい使い方を動画で視聴した。
- ・ 作業終了時の報告のツールとして活用した。
- ・ 振り返り時の即時評価と客観的視点として活用した。

○ 成果

- ・ 動画を繰り返し視聴することで、学習の定着を図ることができた。
- ・ iPadを活用することで、発語が難しい生徒も自ら報告することができた。
- ・ 自分の姿を客観視でき、良かった点やポイントを焦点化して確認できた。



導入端末	iPad
使用機器	iPad, タッチペン, テレビ
使用したソフトや機能	デジタルホワイトボードソフト

○ 対象

小学部第1学年

生活単元学習「秋の自然やお話などにふれよう」

○ 活用の実際

- ・ コロナウイルス感染症対策で共同の作品を作ることが難しかったため、共同編集ソフトを使って赤と黄グループに分かれて落ち葉のイラストに各端末から色塗りを行った。
- ・ 画面の背景に落ち葉のイラストを設定し、アクセシビリティ機能で、ホーム画面を押しても画面が移り変わらない設定をした。
- ・ 手やタッチペンなど、児童の実態に応じた手段で色塗りを行った。

○ 成果

- ・ 児童同士の距離を保ったまま、共同の色塗りを行うことができた。
- ・ 塗れていないところをズームで拡大させることで注目させて、イラスト全体に色をつけることができた。
- ・ ペンを持って活動することが難しい児童も、一人で手を動かして、色を塗ることができた。



導入端末	iPad
使用機器	iPad, テレビ
使用したソフトや機能	写真撮影機能, 動画編集ソフト

○ 対象

小学部第1学年

生活単元学習「冬の自然やお話などにふれよう」
日常生活の指導「給食」

○ 活用の実際

- 育てた大根を児童が給食室に届けるところから、調理されて給食になるまでの動画を撮影して、当日の給食時間に視聴した。
- 撮影した写真や動画を動画編集ソフトで編集した。

○ 成果

- 児童が収穫した大根が給食になり、その大根が調理されている様子を見ながら、教師や栄養士と一緒に「大根だよ。」と確認することができた。
- 調理されている様子を普段見ることができなかったので、興味をもち視聴する様子が見られた。
- 給食を食べた、他の学年から「1年生ありがとね。」とお礼を言ってもらえることができた。





導入端末	iPad, PC
使用機器	iPhone, PC, テレビ, VRゴーグル
使用したソフトや機能	unity

○ 対象

小学部第1学年

生活単元学習「いろいろな乗り物を知ろう」

○ 活用の実際

- ・ コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、校外学習が中止になったため、その代替りとしてVRゴーグルを利用して3D映像で乗り物を見ることができ学習を行った。
- ・ 一人ずつVRゴーグルをつけて、学習した消防車や飛行機などのたくさんの乗り物を、上や横に顔を動かして見学した。

○ 成果

- ・ 3D映像で見ることで、学習した乗り物が動いている様子を見ることができた。
- ・ VRゴーグルを装着すると「ウワー!!」と驚きながら、頭を動かし、いろいろな場所を見渡す様子が見れた。
- ・ 児童が見ている映像をテレビに映し出し、「これは消防車だね。」「飛行機が飛んできたよ。」など確認することができた。

115 広島県立沼隈特別支援学校



導入端末	iPad
使用機器	iPad, テレビ
使用したソフトや機能	写真撮影機能, 動画編集ソフト, 学習支援ソフト

○ 対象

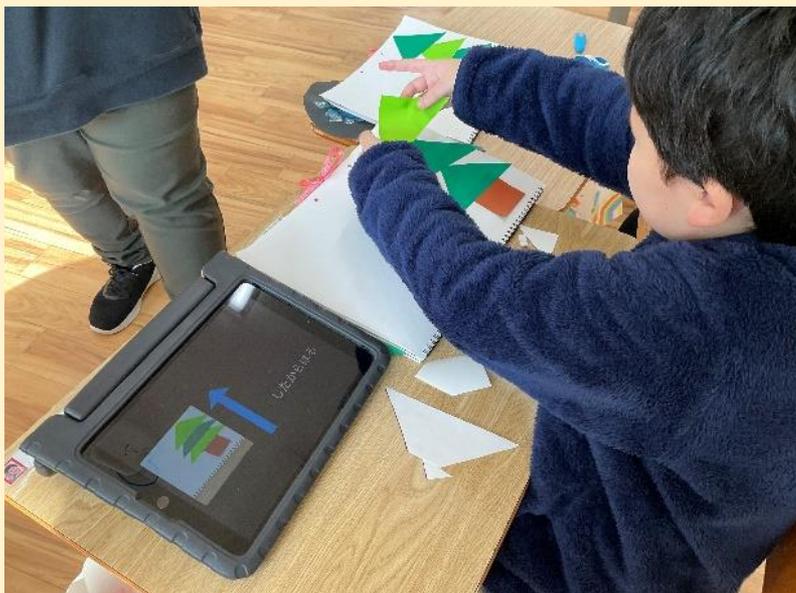
全学部 学校行事「学習発表会 他」

○ 活用の実際

- ・ 教職員対象に動画編集ソフトの研修を実施した。
- ・ 学習発表会で使用する道具や練習風景等を素材にして、動画編集ソフトで児童生徒が動画編集し、発表を行った。
- ・ 学習発表会に向けて予告ムービーを動画編集ソフトを使って教師が作成し、学習支援ソフトを活用し、公開した。

○ 成果

- ・ 動画編集ソフトのテンプレートを活用したり、全てを一から作成したり、実態に応じて動画編集を行うことができた。
- ・ 自分たちの活動を素材としたことで、客観的に自らの活動などを見ることができ、練習への意欲や期待感の向上につながった。
- ・ コロナ禍の中、参観日等も制限される中で、児童生徒の活動の様子を動画で保護者へ届けることができた。



導入端末	iPad,surface
使用機器	iPad, テレビ, モニター
使用したソフトや機能	カメラ機能, マークアップ機能, ミラーリング機能, プレゼンテーションソフト

○ 対象

小学部第4学年, 図画工作

○ 活用の実際

- ・ 教員のiPadで表示した画面を, ミラーリングでモニターに提示しながら, プレゼンテーションソフトを使って, 児童の手元のiPadにも同じ画面を表示した。
- ・ マークアップ機能を使い, 長針, 短針を色分けして示した。

○ 成果

- ・ 机間指導をしながら, 次の手順を映し出すことができるため, 授業を止めることなく進めることができた。
- ・ 手元に手順表があったほうがいい児童, あると気になって集中できない児童によって提示方法を変えることができた。



導入端末	iPad,surface
使用機器	iPad, テレビ, モニター
使用したソフトや機能	カメラ機能, マークアップ機能, ミラーリング機能

○ 対象

小学部第6学年, 算数科「かたち」

○ 活用の実際

- ・ 教室で見つけた形を写真で撮り, iPadでミラーリングし, モニターに映し出して発表した。
- ・ マークアップを使用して画像に印をつけながら説明をした。

○ 成果

- ・ モニターにケーブルで接続する時間を省くことができた。
- ・ ある程度距離があっても使用できるので児童が着席したまま発表できた。
- ・ 距離が取れるので感染症対策にもなった。



導入端末	iPad,surface
使用機器	iPad, テレビ, モニター
使用したソフトや機能	カメラ機能, マークアップ機能, ミラーリング機能

○ 対象

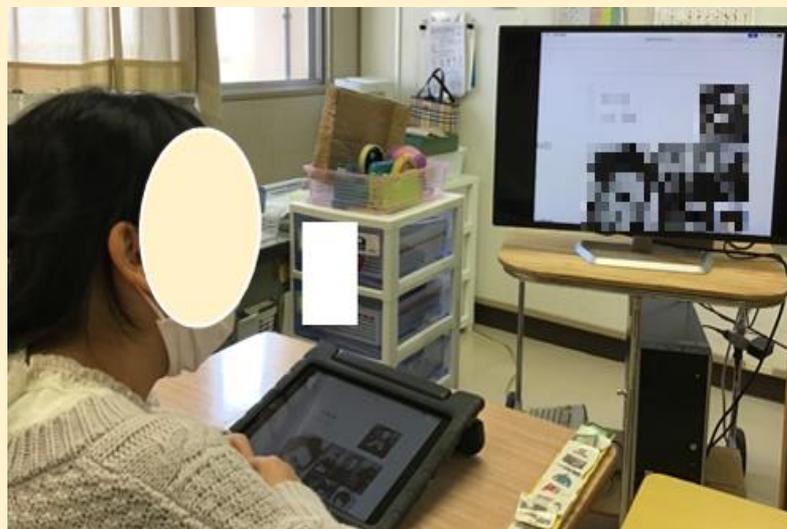
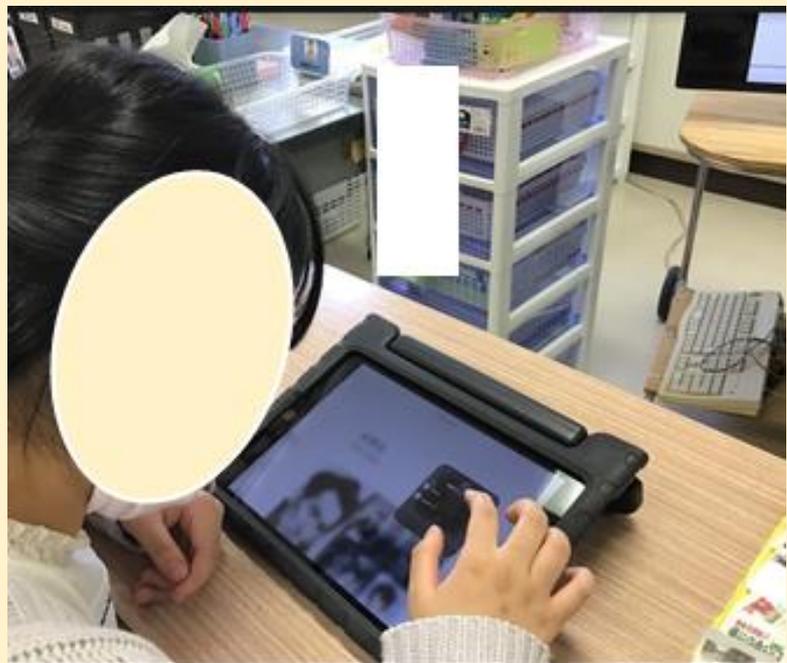
中学部第1学年, 数学科「時刻と時間」

○ 活用の実際

- ・ 時計の問題プリントを写真に撮り, モニターにミラーリングし, 取り組む問題を示した。
- ・ マークアップ機能を使い, 長針, 短針を色分けし, 示した。

○ 成果

- ・ 拡大することができ, どの問題に取り組めば良いのかがよく分かったので, 生徒は迷うことなく解答できていた。
- ・ 長針, 短針に色を付けることができるので, どちらの針が「〇時」なのか「〇分」なのかを着目させやすかった。



導入端末	iPad,surface
使用機器	iPad, テレビ, モニター
使用したソフトや機能	ミラーリング機能

○ 対象

中学部第1学年
国語科「物語を感じよう」

○ 活用の実際

物語の作者「太宰治」について調べ、調べたことをクラスで共有した。

○ 成果

- ・ コネクタを使ってモニターに繋げる時間や煩わしさが軽減された。
- ・ いつでも、どこでも、移動せずに共有できるため、タイムリーに情報共有できた。
- ・ ピンチインして拡大したり、注目させたい箇所を注視させたりすることができた。



導入端末	iPad,surface
使用機器	iPad, テレビ, モニター
使用したソフトや機能	カメラ機能, ミラーリング機能

○ 対象

高等部第1学年

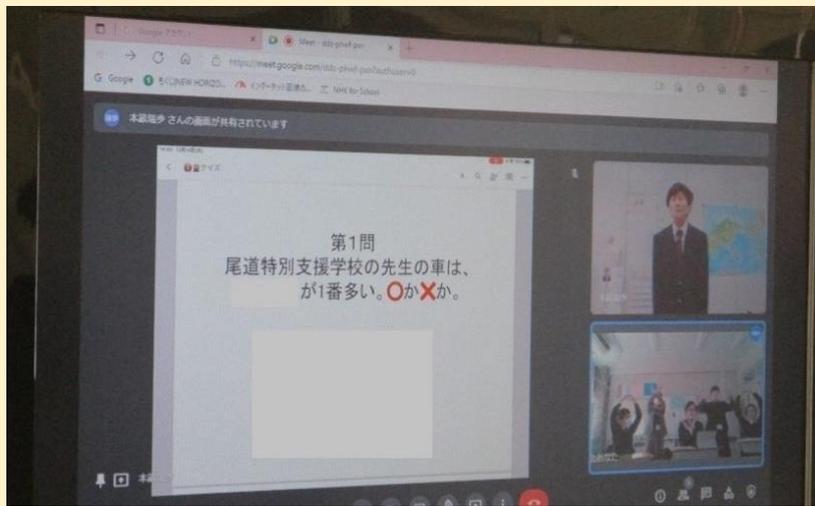
国語科「手紙を書こう」

○ 活用の実際

年賀状を書いた後、表現したものを発表者の iPad でミラーリングして、クラスで共有した。

○ 成果

- ・ 振り返ったり評価したりすることに活用できた。
- ・ モニターに映し出すことで、他の生徒と情報共有することができた。
- ・ ピンチインやピンチアウトをすることで全体のバランスをみたり、注視するところを拡大できた。



導入端末	iPad
使用機器	iPad, 大型モニター
使用したソフトや機能	Web会議システム 学習支援ソフト プレゼンテーションソフト

○ 対象

聴覚障害部門 中学部 交流及び共同学習

○ 活用の実際

- ・ 広島南特別支援学校と尾道特別支援学校の同級生と一緒に、オンラインで国語科の単元「スピーチ」での話し合い活動や総合的な学習の時間の「自分新聞」、「職場見学のまとめ」などの発表をそれぞれ行った。
- ・ プレゼンテーションソフトを使い、自分が発表するための資料の提示の方法を考え、発表原稿を作成した。

○ 成果

- ・ 聴覚障害部門 中学部は、少人数のため、話し合い活動で同年代の友だちの意見を聞いて思考を深め、分かりやすい説明の仕方を考える機会が少なかった。しかし、オンラインでの共同学習を行うことで、意見交流や質問を通して思考を深める機会をもつことができた。
- ・ 機器の操作やプレゼンテーションソフトの活用などのスキルを身に付け、同年代の友だちに分かりやすい発表方法を考えることができた。

